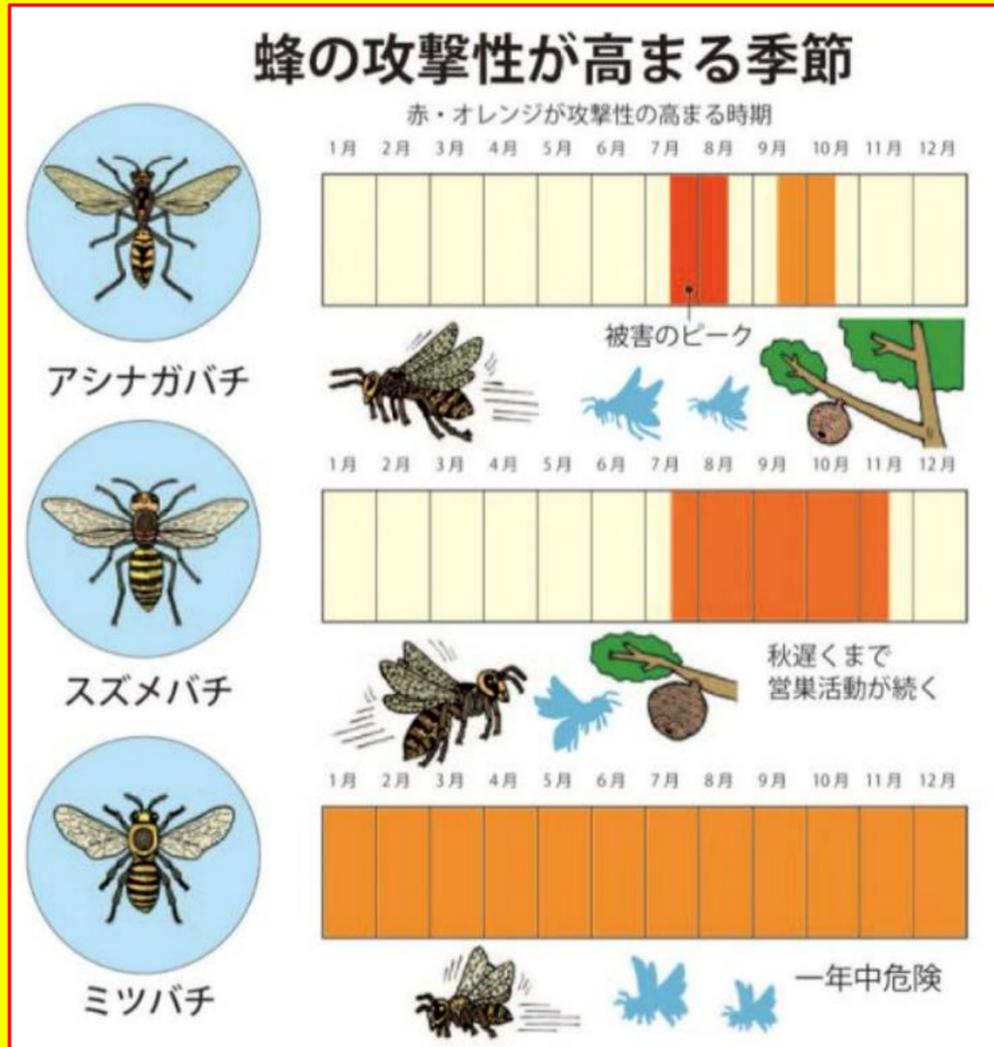


# 蜂刺され被害を防ごう！

△令和5年度は蜂刺され被害が増加しています。R4:35件→R5:54件（+19件、54.3%増）△



林業・木材製造行労働災害防止協会「蜂に注意」

- 蜂に刺される一番危険な時期は、蜂の巣が最も発達し、蜂の数が多き時期です。
- アシナガバチは7～8月、スズメバチは、7月～10月、ミツバチは、一年中危険です。
- 草が繁茂し、草刈りの必要な時期が、蜂に刺される最も危険な時期です。

- 一般的にスズメバチに刺される危険な時期は、7月～10月であると言われており、特に秋季は活動が活発になるため注意が必要です。

## 屋外作業の開始前に…

- ハチの巣がないことを事前に確認して作業を始めましょう
- 作業前に蜂がいないかももう一度確認しましょう
- 帽子・長袖長ズボン・防蜂網・殺虫剤・ポイズンリムーバー等の用意をしましょう

## 蜂に刺されてしまったら…

- ① 刺された傷口を流水でよく洗い流しましょう
- ② ハチの針が残っている場合は、ポイズンリムーバーで針を取り除きましょう
- ③ 抗ヒスタミン軟膏などを塗り、冷やしましょう
- ④ ショック症状が現れた場合は、一刻も早く救急病院で医師の診察を受けましょう



公益財団法人東京しごと財団  
(東京都シルバー人材センター連合)